
太宰治記念館「斜陽館」

太宰治

今なお魅了してやまない太宰文学。
文豪、太宰治の生地探訪。

太宰治肖像（青森県近代文学館：提供）→



街全体が太宰治ミュージアム

太宰治は20世紀の日本を代表する作家の1人です。人間の心の奥深くにある弱さに寄り添い、愛や優しさに満ちた彼の作品に、国内外を問わず、多くの読者が共感しています。五所川原市金木地区は太宰治が生まれ、育った地。生家をはじめ彼の思い出の場所がたくさん残っています。また、情熱的で繊細な音楽を奏でる津軽三味線、伝統の食、雪国ならではの体験など、昔の日本の風景が今も残るこの地すべてが、ミュージアムそのものです。


斜陽館内


新座敷


新座敷


斜陽館内

【太宰治疎開の家（旧津島家新座敷）】
●時間／9:00～17:00
●休館／第1・3・5水曜（その他臨時休館あり）※要問合
●料金／一般500円、小中250円（希望者にはガイド有り）
●交通／津軽鉄道金木駅より徒歩約4分（斜陽館より徒歩約4分）
●問／白川☎0173-52-3063 ●MAP：Ⓓ F-3

【太宰治記念館「斜陽館」】
●時間／9:00～17:00 ●休館／12月29日
●料金／一般600円、高大400円、小中250円
●交通／津軽鉄道金木駅より徒歩約7分
●問／☎0173-53-2020 ●MAP：Ⓓ F-3

小説『思ひ出』の背景

太宰は幼い頃、子守のタケに連れられてよくこの寺を訪れました。『思ひ出』に登場する『地獄極楽の御絵掛地』は、実際には極楽の絵は無く地獄の絵だけです。また、後生車は不慮の死をとげた子供達の供養のために建立されたもので、子供達に回してもらうことによって魂が成仏できるとされていました。


雲祥寺にある後生車


雲祥寺（MAP：Ⓓ F-3）


太宰治銅像（MAP：Ⓓ D-2）


太宰治『思ひ出』の蔵

まちなか「思ひ出」パーク

大正5年1月18日、太宰治が幼少の頃"母"と慕った叔母キエの一家が、太宰の生家である金木の津島家から分家した際に建てられ、太宰もたびたび訪れた蔵を、平成26年に再築したのが「太宰治『思ひ出』の蔵」です。他にも飲食店がある商業施設「トカトントン・スクエア」があります。

【太宰治『思ひ出』の蔵】
●開館／10：00～17：00 ●休館／8月13・14日、12月31日～翌1月3日 ●料金／大人200円、中高100円、小学以下無料 ●問／まちなか五所川原☎0173-33-6338 ●地図／MAP：Ⓑ C-2（まちなか『思ひ出』パーク）



津軽鉄道で味わう四季

津軽五所川原駅～津軽中里駅までの20・7キロメートルを45分で走るローカル列車。


④ダルマストーブでスルメを焼くアテンダント

四季の情趣を愉しむ津軽鉄道

「津軽鉄道」では軽やかな音色の風鈴を車内に吊す風鈴列車や鈴虫の鳴き声を楽しむ鈴虫列車など季節ごとにイベント列車を運行しています。列車内に石炭を燃料にするストーブを暖房にした「ストーブ列車」は、車窓の雪景色とあいまって、昔の日本にタイムスリップしたような気分になります。津軽の伝統的な料理をつめた季節ごとの４つの駅弁で、さらに列車の旅を楽しみませんか？

【津軽鉄道のイベント列車】
①風鈴列車（7～8月）
②旧型客車の運行（8月上旬）
③鈴虫列車（9月～10月中旬）
④ストーブ列車（下参照）



【④ストーブ列車】
●期間／12月1日～3月31日 ●便数／1日3往復（12月1日と12月の平日は2往復、12月30日からは毎日3往復） ●料金／運賃+ストーブ列車料金1,000円
●場所／津軽五所川原駅～津軽中里駅
●問／津軽鉄道☎0173-34-2148


①土鈴が取り付けられた風鈴列車


②昭和20年代製のレトロな旧型客車


【金木桜まつり】
●期日／4月下旬～5月上旬
●場所／芦野公園（MAP：Ⓓ D-2）
●交通／津軽鉄道芦野公園駅下車
●問／金木桜まつり実行委員会 ☎0173-52-2611


冬季間に販売する「ストーブ弁当」

【津軽鉄道駅弁】
●申込／3日前まで要予約（ご注文は2個より） ●申込先／本社☎0173-34-2148（平日＝8:30～17:00、土曜＝8:30～12:30）、津軽五所川原駅☎0173-35-7743（7:00～19:00）、金木駅☎0173-53-2056（5:40～21:00）

桜花の名所、芦野公園

芦野公園駅を降りてすぐ、約1500本の桜と松が湖畔に広がる自然公園があります。吊橋や浮橋、児童動物公園、オートキャンプ場など、見どころもたくさん。太宰治が少年の頃によく遊んだ場所で、園内には太宰治文学碑や銅像があります。旧駅舎を改装した赤い屋根の喫茶店「駅舎」は、当時の雰囲気が残るレトロな店内でコーヒーや金木の特産品を使った軽食が味わえます。


芦野公園の夜桜


赤い屋根の喫茶店「駅舎」